

西光

LIVING A LIFE WITH BUDDHISM



浄土宗西山禅林寺派
雲龍山 西光寺 住職 大塚靈閑

〒671-0101

姫路市大塩町229番地

Tel 079-254-0351

Fax 079-254-4142

Email otsuka@saikouji-himeji.com

HP <https://saikouji-himeji.com/>



HP



LINE



Instagram

ぶっきょうのはなし



3種類の「分かる」

「理解(りかい)」は頭で考えて「なるほど」と意味や理屈を分かることです。仏教ではさらに次のステップがあります。「領解(りょうげ)」です。「領」の字には受けとる、自分のものにするという意味があり、また首の後ろの部分の指します。つまり頭で理解するだけでなく、心の中でしっかりと受け止め、「そうかそうか、うんうん」と首を振り納得するところまでいきます。そして最終的には「体解(たいげ)」です。文字通り身体で分かるということです、頭で理解するだけでなく、自らの行いを通して、身体で覚える、自分のものにしていくということです。修行はまさにそうですね。私も仏教のことを学び始めた当初は、難解な教えに最初は「理解」さえできませんでした。理解したとしてもただ頭で分かっただけです。僧侶としての道を歩む中で、経験という要素も加わって、「そういうことだったのか」と段々分かってくるようになりました。もちろんまだまだ途上です。

なぜ仏壇やお墓にお参りするのか

お盆が終わるとすぐお彼岸です。「もうお彼岸やな、ご先祖さまに線香立てて、掌を合わせにいかなあかん、お前もついてこい」「え～なんで行かなあかんの？めんどくさいな～」「アカンもんはアカン。つべこべ言わんとついてこい」と言うとき古臭いと思われるかもしれませんが、よく分からないながらも続けていく中で、自分の中でなんらかの答えが出てくることがあります。まさに「領解」です。習慣的なものは考える余地や選択肢を与えないという性質のもので、お墓参りも頭で考えて、理解して、納得してから行動に移すというものではありません。

ヒガンにはロクハラミツ

お彼岸は仏道修養の期間でもあります、その徳目が6つ(六波羅蜜)あります。この度はその中から、他者への施しである「布施」をみていきましょう。布施というと、お寺への金銭的な御布施が思い浮かびますが、それはごく一部の意味です。布施の意味合いはもっと広く、浄らかな心で行う他者への施し全般を布施と言います。

布施にならない布施

まずは「このような布施はいけません」の方からみてみましょう。『倶舎論』^{くしゃろん}には、布施にならない布施が説かれています。今でも十分通じるどころか、思い当たることが多く、ドキッとしてしまいます。

- ①随至施^{ずいしせ} 相手からお願いしますねとしつこく言われるので、断り切れずにする施し
- ②怖畏施^{ふいせ} それをしないと具合が悪くなりそうなので、しかたなくする施し
- ③報恩施^{ほうおんせ} 以前に受けた恩に、借りを返すような施し
- ④求報施^{ぐほうせ} 将来のお返し、見返りを期待してする施し
- ⑤習先施^{しゅうせんせ} 習慣に従い、先例に従ってする施し
- ⑥希天施^{きてんせ} 施しの功德として、天界に生まれることを期待してする施し
- ⑦要名施^{ようみょうせ} 今これをしておけば、いずれ自分の名声が高くなっていくだろうと思ってする施し

「不本意だが…」「しょうがないから…」「まあやっておいて損はないか…」などの気持ちがあるものは布施とはいいいません。とはいえ、世俗的な付き合いもありますから、「分かってはいても…」というところはあります。



皆ができる布施

次にこのような布施を心がけましょうの方をみていきましょう。『雜宝蔵経』^{ぞうぼうぞうきょう}に「是れ七施^{しちせ}と名づく。財物を損せずと雖も大果報^{いかど かほう え}を獲る」と説かれており、金銭の施しではない布施が七つあるといえます(無財^{むざい}の七施)。

- ①眼施^{げんせ} 優しい眼差しで接すること
- ②和顔施^{わげんせ} 和やかな笑顔で接すること
- ③言辞施^{ごんじせ} 思いやりのある、やさしい言葉をかけること
- ④身施^{しんせ} 実際に自分が動き、相手のためになることをしてあげること
- ⑤心施^{しんせ} 相手に寄り添い、共感すること
- ⑥床座施^{しょうざせ} 自分の席や場所を譲ること
- ⑦房舎施^{ぼうしゃせ} 心落ち着ける居場所を提供すること

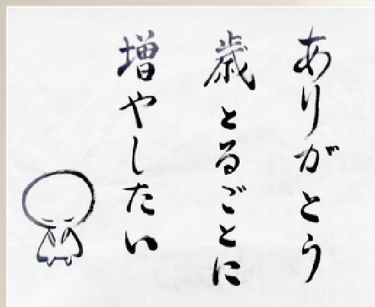
布施はむずかしい

布施、他者への施しで難しい点は、受け取る側がどう受け取るかで意味合いが全く違ってきてしまうということです。施す側、その施しの行為やモノ、そして施される側の3つがすべて打算、しがらみのないものである必要があります(三輪清浄^{さんりんしょうじょう})。よかれと思ってすることでも、ありがた迷惑になることもあります。いつも施されてばかりいると受ける側も負い目を感じることもあります。なんとも難しい…せめてそういったことを感じさせない、後味スツキリの爽やかな施しをどうぞ。後味スツキリとは…施してすぐ忘れてしまうことです。どれか一つでもこの機会に心がけてみませんか(^_^)

門前掲示板 一言法話

7月

ありがとう 歳とるごとに 増やしたい

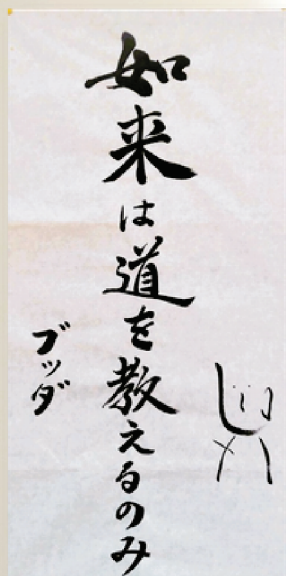


おかげさまを感じることができるのは幸せの第一歩。
こちらをあわせてどうぞ。

愚痴と文句 歳とるごとに 減らしたい

8月

如来は道を教えるのみ (ブツダ)



ゴール(さとり)は確実にそこにあり
そこに至るルート(道)も示されていて
ナビゲーター(ブツダ)もここにいる

算術家(数学者)のモッガラーナは、これだけの条件が揃っているにも関わらず、なぜ皆がゴールにたどり着くことができないのかという疑問をブツダに質問しました。ブツダは答えました。

「友よ、その通りである。^{むじょうあんのん}無上安穩の境地はまさしく存在する。そこに至りうる道もまさしく存在する。そして、私が導師としてある。しかし弟子の中には、その境地に至りうる者もあり、至り得ぬ者もある。それを私がどうすることができよう。私はただ道を教える者なのである。」

ブツダは目的地までの道を示すナビゲーターであって、目的地まで一緒について行くガイドではないのです。ましてや奇跡を起こし助ける救世主でもありません。なぜならそれはその人のためにならないからです。気づき、考え、行動するのはあくまで自分自身なのです。



9月

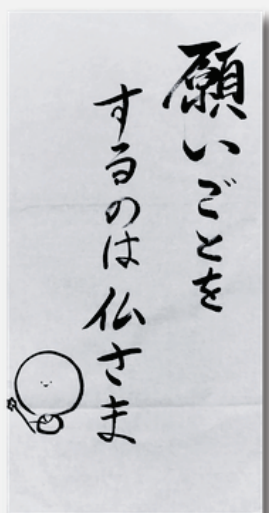
願いごとをするのは仏さま

仏さまというのは、私たちがお願いをしなくてもすでに願ってくださっています。拝んでくださっています。願いを受け取るのは仏さまではなく、私たちの方なのです。

他人への親切、好きな人に寄せる想い、その人のことを思って叱ること…両者の思いが成立するのは届けた時ではなく、相手が受け取った時です。届けることも大事。しかしそれ以上に届けられる思いに気づき、受け取ることが大事。

仏の世界に往かれた今は亡きあの方からの思いは、今現在に限らず、過去からも発信されています。その時はなんとも思わなかったことも、時間が経った今だから素直にその気持ちを受け取ることができるということもあります。また同じ歳、同じ立場になってみてはじめて気づくこともあります。そんな時、自然と掌が合わさります。

願いを受け取る。それを供養といいます。



秋彼岸会

9月21日(月・敬老の日)

午後1時～ おつとめ

午後2時～ お説教

説教師 たつの市 恩徳寺住職
猪澤良秀 師

お説教の前後に塔婆回向(ご先祖の供養)をいたします。ご希望の方は当日世話人席にてお申込み下さい。事前に住職にお渡し頂いても結構です。戒名(〇〇家先祖代々、俗名でも構いません)と施主名(お申込みの方のお名前)をメモしてお持ちください。1霊300円です。

お知らせ!

ご逝去の報

西ノ丁	梶原明美さん	91歳	6月27日寂
中ノ丁	石原誠吾さん	83歳	7月8日寂
加古川	村岡司郎さん	94歳	7月11日寂
大鳥	鷺尾旭子さん	93歳	7月17日寂
御立	北村俊春さん	77歳	7月22日寂
西浜	門照子さん	92歳	7月25日寂
西浜	門利孝さん	96歳	7月26日寂
白鳥台	菅茂一さん	79歳	8月18日寂
宮本丁	歌井良信さん	96歳	8月23日寂
播磨町	四ツ柳裕啓さん	84歳	8月25日寂
妻鹿	藤原富士雄さん	77歳	8月29日寂

編集後記

昨年のことですが、子供が学校からもらってきた稲の種を家で育ててみしたら、見事に黄金色の稲穂が実りました(表紙の写真)。脱穀まではいいのですが、粃摺り、精米がなかなか手作業では面倒くさくなってしまい、放置されいつしか古米に><一粒の米も残さない精神は時代が変わっても引き継がれて欲しいと切に願う次第です。

十夜会のご案内

11月28日(土) 午後1時～

※詳細は次号でご案内いたします

